



## 共に成長を願って

平成21年度も、会員の皆様方のご協力により「けやき」を運営することができましたこと、あらためて感謝申し上げます。

ところで、「けやきでの一年間」は皆様にとってどのような年だったのでしょうか？全体活動としての例会や役員会への参加者は、いつも同じ様な顔ぶれの感があり、内容がマンネリ化してしまっただけなのではないかと反省しています。

その反面、各部会や各自主グループの活動は、はじめてのことに挑戦したり、長く続けていることがさらに充実したりと、感心することの方が多かったように思います。

やはり、ご自身のお子さんの年齢や生活環境・知りたい事・希望している事が近ければ近いほど、活動にも力が入るのは当然です。

親の会「けやき」としては、会員それぞれの自主的な活動がもっともっと活発になり、親も子も共に成長できるように後方支援をおしまず、さりとして「自分たちだけ」のことにならないよう連絡・調整・広報係として見守り、応援する会でありたいと思っています。今後ご理解、ご協力そしてご参加、よろしくお願いたします。

三輪覚子

## 平成22年度 総会のご案内

日時 4月24日(土)・13:00～16:45

場所 東京都多摩障害者スポーツセンター 2階:第1集会室A・B

◇国立駅南口徒歩20分

◇無料送迎バスあり(所用時間5分)

:無料送迎バス時刻表〔国立駅南口発〕11:00 12:25 13:10

〔谷保駅北口発〕13:30

◇路線バス:立川バスまたは京王バスで「国立高校前」下車

ご多忙中とは存じますが万障お繰り合わせの上、

ご出席くださいますようお願いいたします。

# 11月・例会に参加して

日	時	平成21年11月28日(土)
会	場	国分寺労政会館・会議室
テ	マ	「進路について」
講	師	東京家政大学家政学部児童教育学科准教授・半澤嘉博先生

息子は地域の公立中学校の一年生です。ハードな部活と急に難しくなった勉強に追われ、想像していた以上に大変で、常に走り続けているような状況です。そんな毎日の繰り返しで月日は流れて、あっという間に中学校生活三年間も終わってしまいそうな気がしています。卒業後の進路については、本人も家族もどんな選択があり、どのように考えて進んでもよいものか五里霧中であるために、不安を感じています。

今回、半澤先生の講演を伺い、中学・高校・大学の入学後の子どもたちの現状を知ることができました。また、チャレンジスクール、エンカレッジスクール、トライネットスクール等の話もあり大変参考になりました。そして、「思春期年代の発達課題と危機」として、母親や友達、自分の在り方を考える年代であり、揺れ動く気持ちの変化が大きい年代でもあるという話もありました。目の前でどんどん成長していく息子。丁寧に目を向けて見守り、対応していかなければと感じました。この先もいろいろな進路選びを考える機会が幾度もあることでしょう。「生活を楽しむ」ことも大切に考え、息子とよく話し合い、決して無理をしない道と一緒に選んでいきたいと思えます。

H.K

## 参加者の感想



◆関係法規や支援施設、アンケート調査に基づく現状の分析など盛りだくさんの内容でとても勉強になりました。特に「私立高校に関する調査」では、普段なかなか知ることのできない高校側の対応を知ることができ、家庭や中学校・高校との連携の大切さについて考えることができました。

◆初めての参加で、興味深く聞かせていただきました。全般的な状況から最近の都立高校の支援までよく理解できました。子どもは私立高校に通っていますが、こうした情報を予め知っていれば違う選択もあったかなと思い、情報を得ることの重要性を感じました。現在2年生ですが、大学進学を控え成績の低迷に苦しんでいます。子どもの今後のために、大学受験関連の情報をより得たいと考えています。

◆「進路について」の情報を知りたくて、講演を聞かせてもらいに来ました。入ってからまた大変だという事や、支援等はまだまだこれからの課題だと分かり、やや不安になりましたが、現実を知ることができよかったです。

◆進学を決めることはとても難しいことだと思いましたが、現状を聞いて大変参考になりました。チャレンジスクール、エンカレッジスクールなどの様子も分かりました。今日聞けたことを元に、これからの進学先を本人、親、担任の先生、みんなで考えていきたいです。

# 1月・例会報告



## 1月31日（日）国分寺労政会館にて、1月例会が開催されました。

今回は、講師に障害者人材コンサルタントの方をお招きし、「家庭でできる就労準備とは」のテーマで講演をしていただきました。家庭での普段からのちょっとした取り組みが、将来の社会人としての育成や就労のための基礎になっていることが、よく分かりました。また、W i n gの活動をご指導ご支援いただいている障害者就労支援センターのコーディネーターの方に、就労準備や就労後の事例など2つのケースについてお話しいただきました。

その後の質疑応答では、参加者からの質問に対しても分かりやすく具体的にかつ丁寧にお答えいただきました。その後、挙手による活発な質疑応答もあり、有意義で貴重な時間を会場の皆さんと共有することができました。

### 参加者の感想



◆「失敗から学ぼう」「使ったものはすぐに元に戻す」「会話のキャッチボール（質問に答えた後相手にも質問を返す）」「親もさわやかな挨拶」など、日常生活でできることですが、つい親の私もおざなりにしてしまっていることが多く、反省させられました。「逆算思考」「メモを取る」など、これからの課題も多いです。子どもの就労について親も試されているのだと身にしみて感じ、考えさせられました。

◆普段から、ついつい子どもが言う前に私が助け舟を出している事が多いように思います。これでは社会に出た時に本人が一番迷ってしまうので、本人が一言でも自分から自分の考えを言えるように、私も我慢して本人の話聞いてあげたり、ことばのキャッチボールを長く出来るように心がけなければいけないと感じました。5S活動や逆算思考などを生活の中に取り入れていけるようにしたいと思います。

◆講師方のお話は、親の声のかけ方など具体例が多く、大変分かりやすく勉強になりました。親ができていなかった事が多く、恥ずかしい思いで一杯になりましたが、即実践できることがたくさんあったのでやってみようと思いました。子どものせいにしてはいけないのですが、大人（親）の方がクラスのお母さんや学校の先生に理解してもらえない経験が多く、他人に無関心になっていたなと反省しています。子どもの就労のためにも今一度、面倒くさがらず人（社会）とつながろうと思いました。

◆大学での論文作成にあたって、何か情報を得られたらと思いながら、講演を聞いていました。今まで、教育の立場からどのように関わっていくかを学んできましたが、家庭でできる就労準備という視点で話が聞けたので新鮮でした。自分の研究テーマに直接結びつかない内容でも、これからの就労についての分野で関わる時に役立つことがあると思うので、貴重な時間を過ごすことが出来て良かったです。

◆家庭で出来る事で、すでに大切に実行してきた事が含まれていたのは、嬉しく思いました。まだまだ出来ていない事もありますが、今日のお話を参考に、子どもの一番の応援者でいたいと思います。また、子どもを支えてくださる方をもっと増やしていけたらと思います。

## 就労部会

平成 21 年度活動報告

この一年の就労部会は、社会に出てからの様々な悩みを話し合い、終了後は会員同士の親睦ということで、食事会を開きました。

親亡きあとの不安は大きく、金銭管理の問題が自立を阻んでいる場合も多く見られます。発達障害者の生活支援や就労支援に対する対策も見えてきませんが、今ある資源をどのように使うか？また、時代と共に変化する就労の現状もとらえておきたいところです。

というところで、今後の課題が少しずつ見えてきたところなので、今後の話し合いを大切に計画を立てながら進みたいと思います。



\* 4月25日 (土)

今困っている事について話し合い・・・金銭管理の悩みが多く出た

\* 5月26日 (火)

日常生活の課題、自己認知、就労に向けての取り組みの話し合い

\* 6月23日 (火)

発達障害者にとっての成年後見制度の活用法

(行政書士・みなみの学園教室主宰 佐々木正彦氏)

\* 9月15日 (火)

成年後見制度 基礎講座パート2

(行政書士・みなみの学園教室主宰 佐々木正彦氏)

\* 10月27日 (火)

情報交換の後、食事会

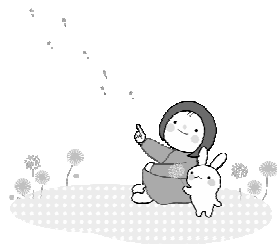
\* 12月1日 (火)

障害者基礎年金の勉強会

年金申請の仕方・年金申請書の書き方

\* 3月30日 (火)

食事をしながらの勉強会



会員同士で、お金の使い方の小冊子を利用して各家庭での実践方法を提案中

新堀(和)



## ■部会報告■

# 教育部会

平成 21 年度活動報告



教育部会は今年度継続の方が少なく、新規会員さんが過半数を占める状況で始まりました。皆さんの抱える問題もさまざまであり、小学校高学年から中学生という難しい時期を迎える方がほとんどでした。学齢期の親としては「学校の不理解」「本人の適応の悪さ」が一番悩みの種であり、その悩みを共感してもらえる場所がなかなかみつからないことも苦しさのひとつかと思えます。

今年度は継続会員が少なかったため、大掛かりなことはなかなかできず皆様のご期待に沿えない部分も多々あったと思いますが、昨年来の活動の基本である「ピアサポート」を中心に行ってきました。食事を共にしながら「話をして、互いに共感しあう」を基本に「親の気持ちの開放」を心がけてきました。例会との合同で講演会を行ったり、秋には高校進路を考え「横浜アカデミー高等部町田校」の見学会を行いました。学校の協力もあり、普段の説明会ではなかなか聞くことのできない個々の対応、支援内容についても詳しく知ることができました。

今後の課題としては進路を視野にいれた学校での特別支援教育の実現や、余暇支援などまだまだやるべきことがたくさんあるようです。会員同士互いに充分話し合いながら自助・共助の精神でやっていきたいと思えます。学齢期のお子さんをお持ちの皆さん、今自分が「こうしたい」「あれがあればなあ」という思いがありましたら、ぜひ教育部会にご参加ください。お待ちしております。

伊原

## ■自主グループ報告■



# おやじの会

平成 21 年度活動報告

今年度もおやじの会は例会後等の懇親会の設営が主な活動でした。その中で 10 月 10 日～12 日に東京学芸大学で開催された LD 学会大会では、全国 LD 親の会の受付、懇親会などを「けやき」が引き受け大会に協力をしました。けやきでの懇親会はおっぱら「おやじの会」の役目で、この全国親の会の懇親会も「おやじの会」が担うことになりました。参加者は遠くは鳥取、徳島、兵庫などの親の会の皆さんを初め 9 団体 24 名の方の参加が有りました。懇親を深め有意義に予定の 2 時間を過ごすことが出来ました。ローカル的には、あるお父さんからは「全国おやじの会を開催しようよ！」との話もありました。また、東京 LD 親の会連絡会の活動を通して他の親の会のお父さん方とも連携を深め、意見交換などを行いその結果を会の運営に反映しています。

藤本

## ■自主グループ報告■

# けやき八王子

平成 21 年度活動報告

## 今年度の活動を振り返って

今年度は、八王子市民企画事業の補助金を受け地元の八王子で、6月はアートワークショップ、10月は講演会を開催しました。

八王子市民企画事業を中心に、けやきの活動を広めながら地域でのつながりを深めたいと考えていましたので講演会に参加して下さった多くの方々と、子どもの自立について一緒に考え合えたことは、大変有意義だったと思います。

アートワークショップも講演会も、八王子グループにとっては初めての経験で準備や当日の運営など、戸惑うことばかりでしたが、皆様のご協力のおかげで無事に終わることができました。ありがとうございました。

親としても成長できる貴重な経験ができました。この経験を生かし、反省も踏まえながら、今後どのように活動していくか考えていきたいと思います。

八王子自主活動グループ一同



## ■自主グループ報告■



# つくし

平成 21 年度活動報告

育ちが気になる子どもの状態を、親はどのように理解し、どのような支え方をすればよいのか、幼稚園・保育園や小学校など集団の中での困り感に、親はどのように対応すればよいのか等…

「つくし」は、就学前後の子どもを育てている親たちが「いま必要としている問題点を具体的な話しの中から考えていく」おしゃべりの場として立ち上げた自主グループです。

今年度は、けやきの入会相談会を中心に活動してきましたが、自主グループとしての活動には至りませんでした。

瀧澤

## ■自主グループ報告■

# ポーレポーレ

## 平成 21 年度活動報告

ついこの前、この子たちに遊びの場を！との思いで立ち上げたポーレポーレも10年がたちました。今年度も月に1回（基本第2日曜日）多摩障害者スポーツセンターを拠点として活動してまいりました。

- 4月19日 川越散策
- 5月10日 室内活動（ゲーム・クイズ等）
- 6月14日 室内活動  
（近況報告・クイズ・ゲーム・夏の宿泊 野球観戦について）
- 7月12日 野球観戦（西武ドーム）
- 8月15日～16日 宿泊活動（横浜・横須賀方面）
- 9月13日 室内活動（夏休みの報告・ゲーム等）
- 10月12日 高尾山登山
- 11月 8日 調理実習（焼きそば・お好み焼き）
- 12月20日 ボーリング・カラオケ
- 1月10日 室内活動（百人一首・ゲーム等）
- 2月14日 室内活動（近況報告 谷保天満宮までの散策）
- 3月14日 室内活動（ゲーム）食事会



昨年度から始めた、活動日ごとにリーダーを決めて、そのリーダー中心に活動する方法が定着し、今年度もボランティアの方々の援助をうけながら楽しい活動ができました。

またメンバーのほとんどが20歳を越え、遊びの場としてだけでなく、親には分からない青年たちの悩みや、喜びなどをこの場で共感しあえるような場になりつつあるようです。ほとんど一年間参加しなかった子、毎回必ず参加する子、都合のつく時や好きな活動の時には参加する子、様々な子どもたちがいますが、いつ来ても歓迎される場所がポーレポーレです。

次年度もこれを基本とし活動していけるよう、私たち親が何をすべきかを共に考えながら、この子たちの居場所確保に努力していきたいと思ひます。

岡部

# キャリア教育講座 Wing

平成 21 年度活動報告

2008年からスタートしたWingも2年間の過ぎました。その間、下記のように沢山の専門家の方々にご協力いただき、深く感謝申し上げますと共にここに年間活動の報告をいたします。



第1回講座 3月30日(月)

◇オリエンテーション(キューピー中河原工場)

\*神奈川県立保健福祉大学 松為信雄教授

第2回講座 5月10日(日)

◇自分を知る \*就労支援コーディネーター ポーバル聡美氏

第3回講座 6月28日(日)

◇履歴書について

\*ハローワーク渋谷 専門援助第二部門 加藤辰明氏

第4回講座 7月12日(日)

◇面接に向けたマナーを学ぶ

\* (株)いなげや 人材開発部リーダー 石川誠氏

第5回講座 8月21日(金)・合宿

◇企業見学 \* (株)ベネッセビジネスメイト

◇企業見学を深める

\* 障害者職業センター 多摩支所 那須利久氏

◇企業体験の振り返り

\* 就労支援コーディネーター 高田美穂子氏

第6回講座 9月6日(土)

◇ビジネスマナーを学ぶ

\* (株)キューピーあい 代表取締役社長 湯田正樹氏

第7回講座 10月18日(日)

◇PATH \* (株)たすく 代表 齊藤宇開氏

第8回講座 11月8日(日)

◇働いている先輩たちの話を聞こう

\* 神奈川県立保健福祉大学 松為信雄教授 \*先輩

第9回講座 12月25日(金)

◇職業興味検査と作業体験・個別の振り返り

\* 東京障害者職業センター(上野)

<次ページへつづく>



## ■自主グループ・Wing報告■

第10回講座 2月14日(日)

◇1年間を振り返る

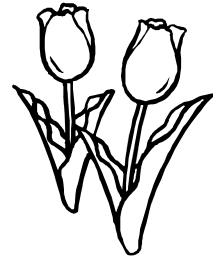
第11回講座 3月7日(日)

◇修了式(京王プラザホテル多摩)

\*神奈川県立保健福祉大学 松為信雄教授

第12回講座 3月7日(日)

◇テーブルマナー(京王プラザホテル多摩)



その他

Wingの取り組み発表

◇けやき例会発表(7月25日)、LD学会発表(10月10日)

けやき共催事業

◇障害者人材コンサルタントによる親講座(1月31日)

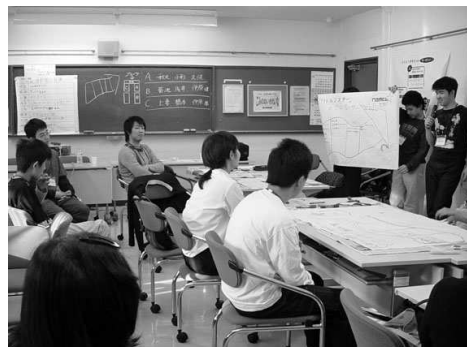
企業体験

◇佐川急便(株)、(株)キューピーあい、山形県立コロニー、(株)いなげや

活動も2年目を迎え、プログラムも更に充実したものになり、そのためのプログラム委員会も12回開催しました。

この講座の目的は、親や本人が作成する学齢期からのキャリア教育のプログラム作成と実証ということですが、活動がハードなために親同士の連絡や集まる事にも困難を感じる時があります。しかし、講座・合宿を通して本人同士の仲間意識が育ち、その事がコミュニケーションの勉強にもなっています。親の意見、専門家の支援が一つになった時、それぞれの子どものニーズにあった支援の方向性がしっかりと見えてくるのではないかと感じています。毎月の講座参加も大変ですが、2009年度は、3人の皆勤賞が出ました。事情がない限り出席する一人ひとりの頑張りに拍手です!!

新堀(和)





# 散歩道



私は今、体温を上げるため歩くことに力を入れています。

2年前、突然体調が悪くなり、原因が甲状腺の病気だと分かりました。それから低体温になり足がだるくむくみ、手に力が入らず、自分の体が思うように動かず、イライラする事が多くなりました。私は仕事も家事もやっているのに、家族の人は誰も手伝ってくれないと、嘆いて一人で腹を立たせていました。

ある時、愚痴を言っている私に「それって自分がそうさせたんでしょ。夫や子どもにやらせないで、何でも自分でやってたから、今何もしないのよ。」と言われ、ハッとしました。そうなんです。私は夫や子どものために、良い妻・母でいようと勘違いをして、何でも自分でやってしまっていたのです。せっかちなので、夫や子どもたちが自分でやろうとした事を取り上げてしまい、その結果が、私が病気になっても何をどうすればいいのか分からないのだと思います。思い返せば、子どもより先に口や手を出してしまっていました。

読み書きが苦手な息子が、本屋でアルバイトをしたいと言った時、漢字が苦手なのにどうやって働くの？この本を探して欲しいとお客様に聞かれた時、対応できるの？と私自身で色々勝手に考えてしまいました。「やめた方がいいんじゃない」と息子に言うと、「僕は本が好きだからがんばる」と自らに言い聞かせ、働き続けてもう2年もがんばっています。息子の気持ちを考えずに頭ごなしに「やめた方がいいよ」と言ったことを反省しています。

※機関紙「けやき」では、会員の方々に自由に語っていただく「散歩道」というコラム欄を設けています。趣味のこと、読んだ本や見た映画の感想、日頃感じていることなど、どしどしご投稿をお待ちしております。

私は、健康を維持するためジムにも通いましたが、ダメで右肩が四十肩になってしまい、また家族に迷惑をかけています。体温や免疫力を上げるため、生姜茶を飲んだり歩くことに努力をしている毎日です。

M.Y



## NPO法人全国LD親の会主催 特別支援教育支援員養成講座の受講を終えて

平成22年1月23日、30日に特別支援教育支援員コースを受講しました。

両日ともに、9時から渋谷で講座受講のために朝7時に家を出て、17時までの受講は、長時間の為にきついものがありました。特別支援教育の基本や支援員の業務や心構え、対応の基本、困難とサポートの方法などを特別支援教育の中心になられている先生方のお話を聞く事が出来、受講者の間で、「素晴らしいメンバーの講師にお話を聞けて本当に勉強になった」という感想があちこちで聞かれました。

(原稿書きで、午前3時に寝た私が、午後になっても眠くないのが不思議!!)

2月17日は、朝8時30分から12時過ぎまで学校現場の見学で、校長先生、教頭先生、支援員、TTの方の役立つお話を聞き、支援員の役割を見せていただきましたが、落ちこぼさない指導がどのようなものなのか?…現状をみることで更に講座内容を深く理解することが出来ました。その後、レポート提出をして終了です。

私は、保護者に対する相談支援のために受講しましたが、今まで理解しているつもりでいた特別支援教育に対する確認と共に、新しい考え方も身に着いたように感じ、今後はこの経験を会の中でも生かしていきたいと思っています。多少のお金はかかりますが、皆さんも機会がありましたら受けてみませんか? オススメです!!

(この事業は、全国LD親の会が文部科学省から「発達障害を含む特別支援教育におけるNPO等活動体系化事業」として受託をしたものです。)

新堀(和)

### お知らせコーナー

#### 4月の入会相談会・入会説明会を開催します

日時 4月24日(土) 12:00~13:30

場所 東京都多摩障害者スポーツセンター 2階:第1集会室A・B

「つくし」の活動もあります。

気軽にご相談ください。

参加者募集中



#### ■書籍紹介■発達障害のある子にもない子にも役立つ、はるえ先生とドクターMの

#### 「苦手攻略大作戦」6冊セット 金子晴恵【著】 宮尾益知【監修】

- ・集中するのが苦手でも、おぼえるのが苦手でも、
- ・運動やこまかい作業が苦手でも、空気をよむのが苦手でも、
- ・おしゃべりが苦手でも、字を書くのが苦手でも、
- ・だいじょうぶ!“理由”と“作戦”を教えるよ!
- ・小学校中学年~大人向け

上記の書籍を、「アンダンテ西荻教育研究所」様よりご寄贈いただきました。

ご覧になりたい方は、三輪までお知らせください。

## 「けやき」では年間を通して入会を受付けています

\*入会金 2000円

\*年会費 5500円

総会、例会、役員会の会場に直接お出かけください。

会員募集中



詳しくは、けやきホームページ <http://www.ne.jp/asahi/hp/keyaki/>にてご案内していますのでご覧ください。

賛助会員、通信会員、ボランティア会員も募集しています。

## 平成22年度 5月例会のご案内

下記のように5月例会を開催します。

奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

日時 5月15日(土) 13:00~17:00

場所 (財)東京しごと財団 第2セミナー室

千代田区飯田橋3-10-3

東京しごとセンター・5階 (JR 総武線・地下鉄 飯田橋駅下車)

\*親の体験談(先輩の話)と会員交流を中心に進めます。

\*会員更新手続き及び新規加入希望者のための説明・入会手続きも行います。



### 編集後記



飼っている亀の食欲がぐんぐん増して、春の到来と共にわが家のペットたちも生き生きとしてきました。しかし、花粉症の身にとってはなんとも憂鬱な季節です。私もかれこれ30年ほど悩まされていますが、実は息子も気が付いたらいつのまにか花粉症になっていました。わが家で無事なのは、うちの奥さんと猫たちだけです。息子は、その対策として今年も早々と医者から薬をもらい、現在せっせと飲み続けています。確かに薬は効いているらしくて、毎年ひどい症状は出ていないようです。では、私も薬を処方してもらえばいいわけですが、頑固の領域に達してしまったおやじとしては、薬に対する拒否反応が潜在的にあるらしくて、薬を飲んでみようという気にはならないのです。私の対策はもっぱら、密閉度があって眼鏡の曇りにくいマスクと、肌にやさしいウェットティッシュと、小型空気清浄器の3点セットです。実は情けない話ですが、この記事もティッシュを横に置いて鼻水を拭いながら書いているところなのです・・・ K.M